

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成28年3月10日 (2016.3.10)

【公開番号】特開2015-204828(P2015-204828A)

【公開日】平成27年11月19日 (2015.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-072

【出願番号】特願2015-94818(P2015-94818)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 0 1 H 1/00 (2006.01)

A 0 1 H 5/00 (2006.01)

A 0 1 N 43/50 (2006.01)

A 0 1 N 43/90 (2006.01)

A 0 1 N 47/36 (2006.01)

A 0 1 P 13/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 0 1 H 1/00 A

A 0 1 H 5/00 A

A 0 1 N 43/50 Q

A 0 1 N 43/90 1 0 5

A 0 1 N 47/36 1 0 1 E

A 0 1 P 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月20日 (2016.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非トランスジェニック除草剤耐性植物であって、

アセトヒドロキシ酸シンターゼ (A H A S) I 遺伝子に人工的に導入された標的変異をゲノムに含み、人工的に導入された標的変異を含む A H A S I 蛋白質を発現し、

人工的に導入された標的変異が、

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからシステインへの置換；

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからロイシンへの置換；

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからメチオニンへの置換；

および

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからセリンへの置換；

からなる群より選択される、非トランスジェニック除草剤耐性植物。

【請求項 2】

人工的に導入された標的変異が、配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからロイシンへの置換である、請求項 1 記載の非トランスジェニック除草剤耐性植物。

【請求項 3】

A H A S 阻害性除草剤による阻害に対して耐性である、請求項 1 記載の非トランスジェ

ニック除草剤耐性植物。

【請求項 4】

前記 A H A S 阻害性除草剤は、イミダゾリノン、スルホニルウレア、トリアゾロピリミジン、ピリミジニルチオベンゾエート、スルホニルアミノカルボニルトリアゾリノン、およびこれらの混合物からなる群より選択される除草剤である、請求項 3 記載の非トランスジェニック除草剤耐性植物。

【請求項 5】

前記 A H A S 阻害性除草剤はイミダゾリノン除草剤である、請求項 4 に記載の非トランスジェニック除草剤耐性植物。

【請求項 6】

前記 A H A S 阻害性除草剤はスルホニルウレア除草剤である、請求項 4 に記載の非トランスジェニック除草剤耐性植物。

【請求項 7】

前記 A H A S I 蛋白質は、配列番号 2 1 ～ 6 2 のアミノ酸配列の 1 またはそれ以上と 9 0 % またはそれ以上の同一性を有する、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の非トランスジェニック除草剤耐性植物。

【請求項 8】

キャノーラ、ヒマワリ、タバコ、テンサイ、綿花、トウモロコシ、コムギ、オオムギ、イネ、ソルガム、トマト、マンゴー、モモ、リンゴ、洋ナシ、イチゴ、バナナ、メロン、ジャガイモ、ニンジン、レタス、タマネギ、大豆種、サトウキビ、エンドウ、ソラマメ、ポプラ、ブドウ、柑橘類、アルファルファ、ライ麦、オートムギ、芝草および飼料草、亜麻、菜種、キュウリ、アサガオ、ニガウリ、ピーマン、ナス、マリーゴールド、ハス、キャベツ、デイジー、カーネーション、チューリップ、アヤメ、およびユリからなる群の植物の種から選択される、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の非トランスジェニック除草剤耐性植物。

【請求項 9】

アブラナ属である、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の非トランスジェニック除草剤耐性植物。

【請求項 1 0】

請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載の非トランスジェニック除草剤耐性植物の種子であって、

人工的に導入された標的変異を含むアセトヒドロキシ酸シンターゼ（A H A S）I 蛋白質をコードする、人工的に標的変異が導入された A H A S I 遺伝子をゲノムに含み、人工的に導入された標的変異が、

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからシステインへの置換；

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからロイシンへの置換；

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからメチオニンへの置換；

および

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからセリンへの置換；

からなる群より選択される、種子。

【請求項 1 1】

請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載の非トランスジェニック除草剤耐性植物の細胞であって、

アセトヒドロキシ酸シンターゼ（A H A S）I 遺伝子に人工的に導入された標的変異をゲノムに含み、人工的に導入された標的変異を含む A H A S I 蛋白質を発現し、

人工的に導入された標的変異が、

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからシステインへの置換；

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからロイシンへの置換；

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからメチオニンへの置換；

および

配列番号 1 の 5 7 4 位に対応する位置におけるトリプトファンからセリンへの置換；
からなる群より選択される、細胞。